

復興推進委員会

第 2 期復興・創生期間までの復興施策の
総括に関するワーキンググループ

現地視察（福島県） 報告

視察行程等

● 実施日

令和7年2月26日（水）

● 参加者

今村座長、浅野構成員、阿部構成員、石川構成員、白波瀬構成員、奥野委員、関委員、山崎委員（計8名）

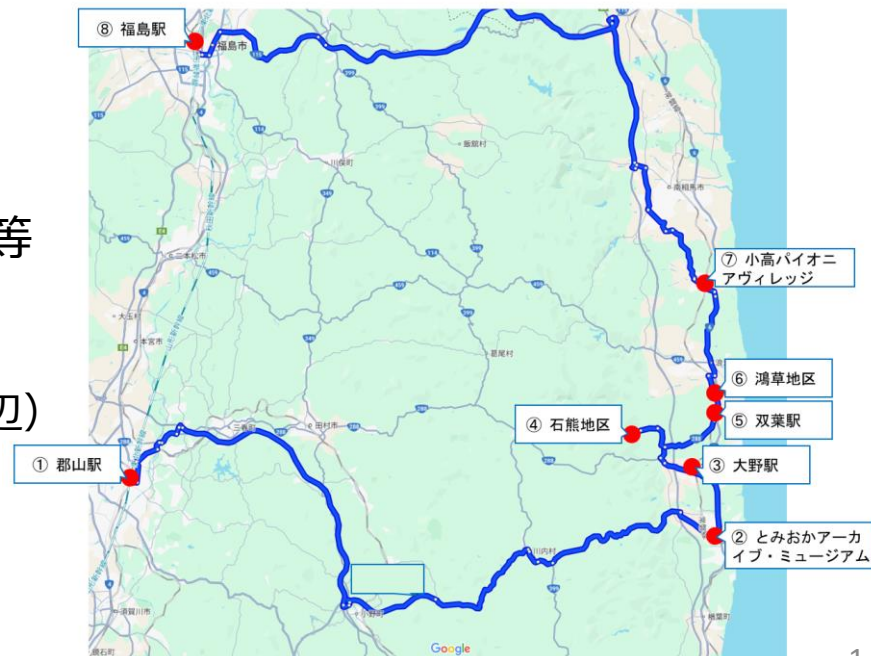
※ 復興庁及び福島県庁の職員が随行。

● 訪問先

福島県南相馬市、富岡町、大熊町及び双葉町

● 行程

- ① とみおかアーカイブ・ミュージアム
- ② 大熊町内
特定復興再生拠点区域（JR大野駅周辺）等
- ③ 双葉町内
 - ・ 帰還困難区域（石熊地区）
 - ・ 特定復興再生拠点区域（JR双葉駅周辺）
 - ・ 帰還困難区域（鴻草地区）
- ④ 小高パイオニアヴィレッジ



結果概要

① とみおかアーカイブ・ミュージアム

<概要>

「複合災害を地域の歴史に位置づける」をテーマとする本施設において、富岡町長から同町の現状と課題についての説明を聴取した後、同ミュージアムの学芸員から、展示資料についての説明を聴取するとともに、収蔵庫や作業室等施設内を視察。

福島県の浜通り地域や富岡町の成り立ちについて理解を深めるとともに、発災直後の状況や避難生活、東日本大震災を境に生じた町の変化等について、被災地から収集・保管された資料等を通じて同震災の影響を改めて確認。



② 大熊町内

<概要>

町内の帰還困難区域の状況や特定復興再生拠点区域における産業団地や住宅の状況について、町長からの説明を聴取しつつバス車内から視察。また、JR大野駅付近の産業交流施設（CREVAおくま）内を視察するとともに、社会教育複合施設の整備予定や町内の課題等について、町長等との意見交換を実施。

<意見交換における主な事項>

- 帰還・移住の促進に向けた住宅、商業施設、医療体制等の整備に係る取組と課題
- 魅力ある教育施設がもたらす移住促進への好影響
- 公共交通機関等の生活に必要な交通手段の確保
- 土地のニーズとシーズのマッチングにおける民間サービス活用的重要性



結果概要

③ 双葉町内

<概要>

石熊地区（帰還困難区域）において農地が除去土壌の仮置き場となっている状況や荒廃している状況を、鴻草地区（同上）において分譲住宅地が荒廃した状況を視察するとともに、町長との意見交換を実施。また、特定復興再生拠点区域における復興の状況について、JR双葉駅周辺を中心にバス車内から視察。

<意見交換における主な事項>

- 避難指示解除の時期によって地域の状況が大きく異なること
- 雇用創出及び町内居住を可能とする住宅確保の重要性
- 建設資材価格や設計労務単価の高騰に伴う課題
- 特定帰還居住区域の避難指示解除後に生じる課題



④ 小高パイオニアヴィレッジ

<概要>

避難指示の解除後に、住民の帰還を促し、復興に向けて活動する場を提供することを目的として建築された本施設において、地元発のベンチャー企業による産業創出やコミュニティ形成の取組等について聴取して施設内を視察した後、意見交換を実施。

<意見交換における主な事項>

- 地域の自立性・持続性確保のために特定の大企業への依存から脱出し地域課題を解決する事業を創出することの重要性
- 起業時の課題や再チャレンジを支援することの重要性
- 同施設が果たす地域の拠点としての多様な役割

